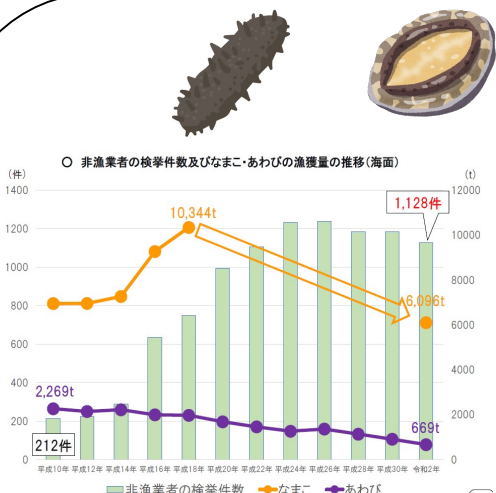


Yamaka Topics ヤマカトピックス

水産流通適正化法が施行



近年、非漁業者の違法操業が悪質、巧妙化しています。ナマコ、アワビに関しては違法操業の検挙数（棒グラフ）は約10年前から急増しており、それに反比例し漁獲量（折れ線グラフのオレンジがナマコ、紫がアワビ）が減少の一途を辿っています。この不法な水産物の流通を防ぐ対抗措置として、「水産流通適正化法」が12月1日から施行されます。概要としては生産者が漁獲した水産物に漁獲番号が割り振られその番号を流通過程で伝達していくというものです。我々、水産物流会社は仕入時の記録、販売時は漁獲番号（荷口番号）の伝達と取引情報の記録を3年間保存する義務があります。一般消費者向けの販売（飲食店）の場合は仕入時の記録の保存は同様に必要ですが、消費者に対する番号伝達の必要はありません。



いよいよ年末！入荷状況



今年は地物タラが早めの入荷。白子も良い状態で生食可です。地物ブリも早めの入荷ですがやや小ぶり。山形沖の水温が高く、能登沖の水温が低くなると富山湾にブリが南下してきます。その温度差が大きいほど回遊するブリも増えるそうです。地物ズワイガニは出足が好調で昨年同日の実績を上回りました。天候にも恵まれ、昨年とは打って変わって安値推移です。米国の買い意欲の低迷、ウクライナ侵攻による米国のロシア産ズワイの禁輸の影響で冷凍物の相場も下落、カニ全体で割安感が出ています。コウバコは今年いっぱい入荷です。例年、12月に入るとカニ漁場に集中していた漁も落ち着き、甘エビなどが平常通り入荷してきます。ナマコは昨年に引き続き、入荷が非常に少ない状態で市場にもあまり出ていません。能登産は身質が柔らかく酢の物に最適であるため関東方面の引き合いが強いことも影響していますが、資源自体の枯渇が懸念されています。

12月のさかな

ズワイガニ
コウバコガニ
ブリ ◎
タラ ◎
甘エビ ◎
ナマコ ◎
フグ(ムキフグ)
カキ
ヤリイカ
アンコウ

